

2018

初夏

マイホームデザイン だより

今月のスポットライト

- 青根温泉改装レポート
- TOTOの新しいトイレ
- 家づくり無料勉強会
- 腸活エステで健康に
- ぽぽ&はな



社長のひと言 「オリンピック」

古い話になりますが、平昌オリンピックで、ある選手のとった行動がずーっと気になっていました。それは、ジャンプ競技での伊藤夕希選手です。高梨選手が飛び終わってメダル確定の瞬間、伊藤選手が満面の笑みで高梨選手に抱きついた時、この人はすごいと感じました。本人は追い風の悪天候のジャンプで結果9位でしたが、自分の事よりも他人の幸せを心から喜べる利他に生きている方だと感心させられました。普通は他人を妬み、羨むところ、ご両親の教育が素晴らしいのでしょうか。凡人には中々出来る事ではありません。私はこのシーンが爽やかで優しい気持ちになれた瞬間でした。若い人に人としての生き方を学んだ気持ちになりました。伊藤選手の今後、歳を重ねて成長していく姿が楽しみです。（親になった心境かなあ）

しかしジャンプ競技時間が夜10時から、寒さを必死に堪える選手たち。米国基準の放送時間帯に合わすことは納得いきませんでした。オリンピックも興業と考えると莫大な米国放映資金には勝てないのでしょうかね。

もちろん地元羽生選手、皆様の知るところで感動しました。凱旋パレードも、人人、人でしたね。改めて拍手をおくりたいです。この感動のまま2年後を迎える事ができるのでしょうか、自国開催なのでもっともりあがるのでしょうかね。

遠藤 光二

